

平成二十三年年度

第4号

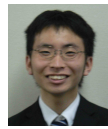
瑞浪青年塾だより

主な記事

平成二十三年年度、第四回瑞浪青年塾が中日本生涯学習センターで十一月十二日・十三日の一泊二日、三十二名(スポーツ参加含む)おもてなし県は愛知県で開催されました。今回は「国を憂う」をテーマに、体験発表を名張事務所の富山佳之様、講義を麗澤瑞浪の高瀬仁志講師に担当をしていただきました。おもてなし県の愛知の方々も、ミニゲームで懇親会を大いに盛り上げていただきました。

テーマ『国を憂う』

参加者レポート



中日本センター 岩吹 圭時

今回の青年塾に参加させていただき、天皇陛下への考えを改めて感じられました。

今回は国を憂うというテーマで講義をしていただきました。麗澤瑞浪中学・高等学校高瀬仁志講師には天皇と日本人の心について、体験発表をしていただきました。富山佳之様からは現在の日本人は富つと自国を誇るべきであるというお話にも私も含め熱心に聞いていました。

天皇陛下に関しては、日本の象徴であるということ以外あまり考えたことがありませんでしたが、今回のお話しを聴かせていただき、天皇のお仕事や国民をどのように思っているのかなど知ることが出

てきました。天皇陛下は本当に国民のことを我が子のように思っているのだらうか、という疑問がありました。それが麗澤瑞浪の皇居奉仕のお話しで綺麗に拭い去ってくれました。「預かっていただき、どうもありがとうございます。」このような言葉は真に国民のことを考えていないければ出てこないなと思えました。戦後の復興に関しても昭和天皇の国民を想う気持ちも本物で、自身より国民を大事に想っていたからこその日本のあるのだと知りました。

天皇陛下は日本の象徴だと言いますが、それは日本人のあるべき姿、他人を思いやり気遣う、そんな日本人の心の象徴ではないかと思えるようになりました。



富山佳之様



<体験発表・講義>



高瀬講師

- 今回のメニュー
- 愛知県の方が沢山協力してくださいました。
- 鰻茶漬
- ポップコーン
- どて煮

次回の青年塾おもてなし県は三重県の皆さんです。よろしく願います。

社会貢献活動のご紹介

ただ今、中に生涯学習センターでは、ペットボトルのキヤップを集めています。皆様、ご協力の程、よろしく願います。

次回のご案内

次回のご案内
次回の瑞浪青年塾は、テーマ『結婚ってなんだろう』です。担当講師は、津事務所の佐藤夏代講師です。期間は十二月三・四日です。

次回もスタッフ一同、心より皆様のお越しをお待ちいたしております。お誘いあわせの上、ご参加下さい。

平成二十三年度瑞浪青年塾参加者(スポーツ)募集中です。

瑞浪青年塾に参加を希望される方は、ドシドシご応募下さい。

申し込み方法は電話・ファックス・メールなどで受け付けております。

あて先
中日本生涯学習センター
電話 0572-66-3080
FAX 0572-66-3003
メールアドレス Mizunami@morology.jp
こちらに出欠のご連絡をお願いします。

お知らせ